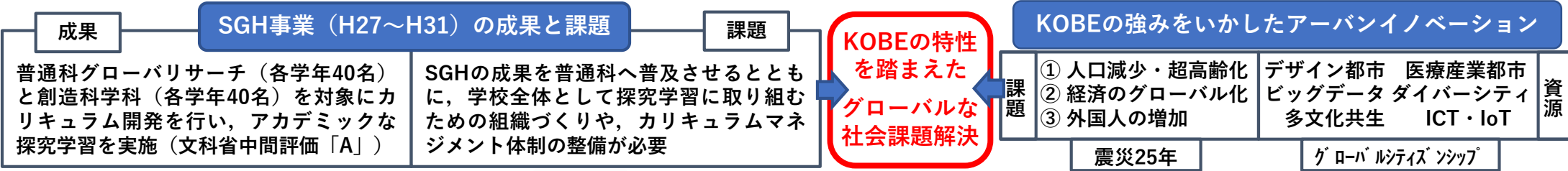
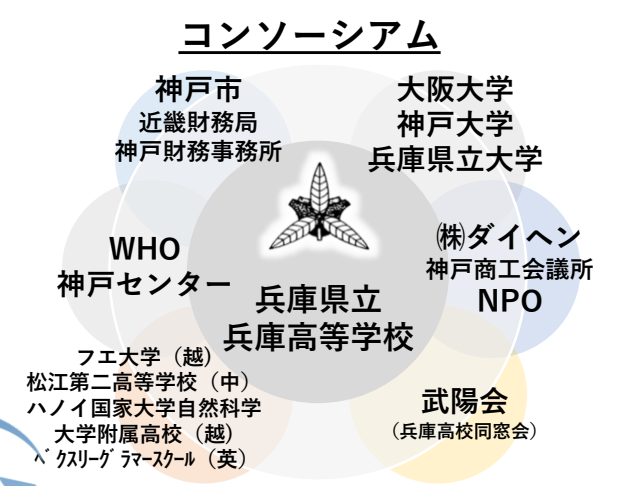
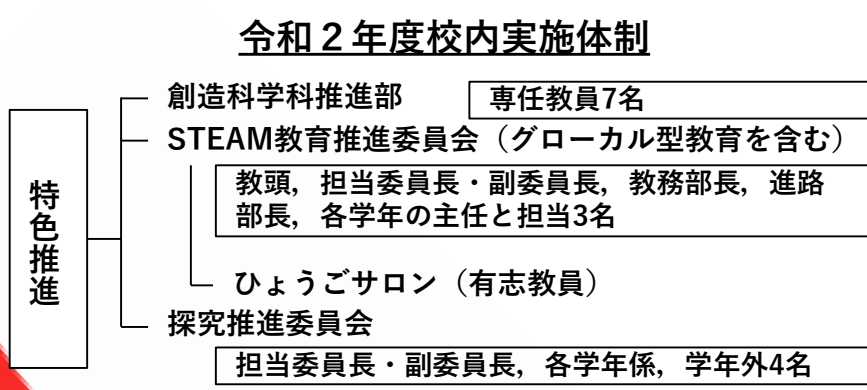


“次世代が選ぶまち”KOBEの実現 ～地域社会の未来を担い世界へはばたく実践者の育成～



生徒に習得させる力

- ・ 諸外国の人々の異なる価値観を受容し、自他の立場を踏まえて考察できる**批判的思考力**
- ・ コミュニティが抱える課題の解決に向けて世代や文化を越えて協働し、より良い社会の創造に向け積極的に行動を起こす**実践力**
- ・ 1つの課題を地域、国、地球全体のそれぞれのレベルで捉え、社会をより良い方向に導き新しい価値を生み出す**創造力**
- ・ ICTを活用して正しく情報の取捨選択をし、Society5.0時代をたくましく生き抜く**情報活用力**
- ・ 他者の意見に耳を傾けつつ自らの考えを他者に伝達し、共に目標に向かって協力して課題解決にあたる**協働力**



令和2年度コンソーシアムの効果的運用

- ・ SGHの研究成果をふまえ、コンソーシアムの積極的活用によるグローバル型探究活動の推進
- ・ 実践研究ラウンドテーブル「ひょうごサロン」を創設し、STEAM教育に沿ったカリキュラムを開発

地域協働学習実施支援員

神戸市企画調整局つなぐラボ
海外交流アドバイザー
ひょうご海外ビジネスセンター
カリキュラム開発アドバイザー
安藤福光（兵庫教育大学）

普通科（各学年280人）

- ① 総合的な探究の時間
 - ・ 探究推進委員会を設置
 - ・ リレー講座やSDGsに沿ったチーム編成、神戸に関連したテーマ設定による探究学習を実施
- ② グローバルリサーチ
 - ・ 約40名を対象にグローバルリーダー育成プログラムを実施
 - ・ 外部講師による講義やフィールドワーク、ヒアリング等を実施
 - ・ 年間3回の発表会を実施し、普通科生徒へ成果を普及

創造科学科（各学年40人）

- ① 創造基礎
 - ・ 地域、国家、グローバルな課題について、外部講師による講義やフィールドワークや課題解決の実践活動を実施
- ② RRE(Research and Report in English)
 - ・ 創造基礎の内容を留学生に対し研究発表し、テーマについて議論
- ③ 創造応用
 - ・ SDGsに沿ったテーマについて、大学教員や院生の指導を受け、アカデミックな探究学習を実施

STEAM教育に沿ったカリキュラムを開発

- ① 「ひょうごサロン」の設置
 - ・ 有志教員による実践研究交流会
 - ・ PBL型学習やSTEAM教育について共通理解を図った
- ② 情報の科学
 - ・ 観光をテーマに、ビッグデータを活用した探究学習を行い、成果発表を実施
- ③ KOBE研修の実施
 - ・ 医療・情報・ロボット分野について地元神戸で日本の最先端の科学技術を体験し、成果発表会を実施

成果と課題

- ① すべての生徒を対象にPBL型学習を実施
- ② コンソーシアムを積極的に活用し、延べ200名近い地域人材が参画
- ③ 海外研修中止などにより生徒の課題意識がローカルな内容が多くなったため、グローバルな視野をもった課題研究も展開
- ④ 「ひょうごサロン」を組織化し分掌上位置付け、STEAM教育に沿ったカリキュラム開発とSDGsを軸にしたカリキュラムマネジメントを推進
- ⑤ パフォーマンス評価の開発と評価入力から分析にいたるシーケンスを確立
- ⑥ 「情報の科学」をはじめ、普通教科にも探究的要素を導入